

「離散数学」資料1 — 無限を数える

鴨 浩靖



2020年10月6日 初版
2020年10月7日 修正版
2022年10月6日 再修正版

素数と自然数

素数を並べる。

2 3 5 7 11 13 17 19 23 29 31 ...

素数と自然数

自然数と対応づける。

2	3	5	7	11	13	17	19	23	29	31	...
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	...

素数と自然数

自然数と対応づける。

2	3	5	7	11	13	17	19	23	29	31	...
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	...

素数と自然数は同じだけ存在する

数の階層

\mathbb{N}	自然数全体
\mathbb{Z}	整数全体
\mathbb{Q}	有理数全体
\mathbb{R}	実数全体
\mathbb{C}	複素数全体
\mathbb{H}	四元数全体
\mathbb{O}	八元数全体

NとZ

N	自然数全体
Z	整数全体
Q	有理数全体
R	実数全体
C	複素数全体
H	四元数全体
O	八元数全体

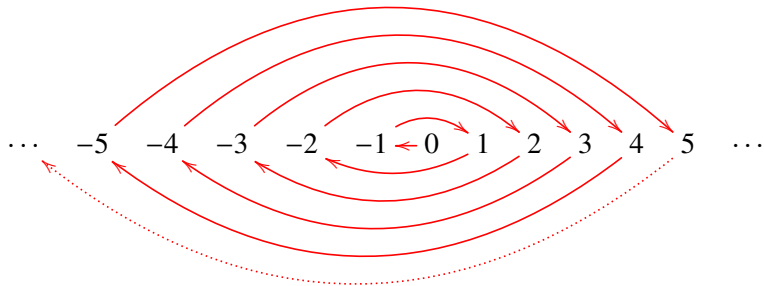
NとZ

整数を双方向に一行に並べる。

… -5 -4 -3 -2 -1 0 1 2 3 4 5 …

NとZ

片方向に並べ替える。



NとZ

自然数と対応づける。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	...
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
0	-1	1	-2	2	-3	3	-4	4	-5	5	...

NとZ

自然数と対応づける。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	...
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
0	-1	1	-2	2	-3	3	-4	4	-5	5	...

自然数と整数は同じだけ存在する

練習問題

1. この方法で自然数 x に対応する整数を計算するプログラムを書け。
2. この方法で整数 n に対応する自然数を計算するプログラムを書け。
3. 整数を片方向に並べる方法は他にもいろいろある。他の方法を考えてみよ。

ZとQ

N	自然数全体
Z	整数全体
Q	有理数全体
R	実数全体
C	複素数全体
H	四元数全体
O	八元数全体

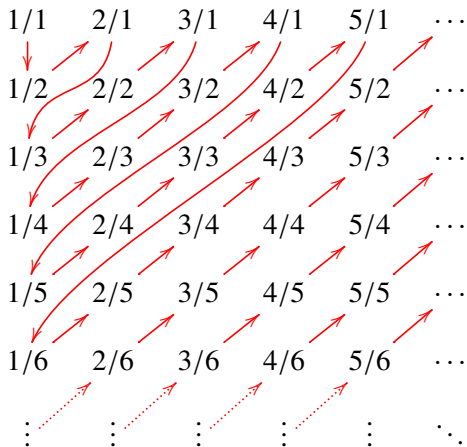
ZとQ

正の有理数を分数表記して縦横に並べる。

$1/1$	$2/1$	$3/1$	$4/1$	$5/1$	\dots
$1/2$	$2/2$	$3/2$	$4/2$	$5/2$	\dots
$1/3$	$2/3$	$3/3$	$4/3$	$5/3$	\dots
$1/4$	$2/4$	$3/4$	$4/4$	$5/4$	\dots
$1/5$	$2/5$	$3/5$	$4/5$	$5/5$	\dots
$1/6$	$2/6$	$3/6$	$4/6$	$5/6$	\dots
\vdots	\vdots	\vdots	\vdots	\vdots	\vdots

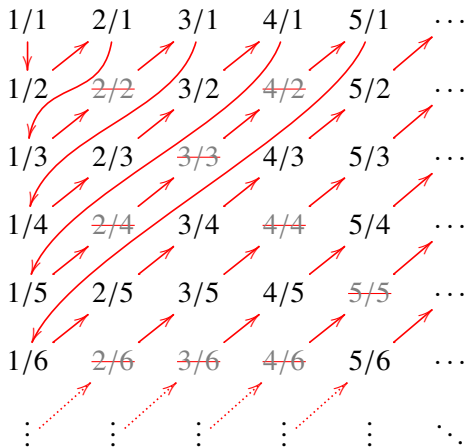
ZとQ

一列に並べ替える。



ZとQ

既約分数でないものを取り除く。



ZとQ

正の整数と対応づける。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	...
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
1	1/2	2	1/3	3	1/4	2/3	3/2	4	1/5	5	...

ZとQ

零と負数を追加する。

...	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1		
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
...	-5	-1/5	-4	-3/2	-2/3	-1/4	-3	-1/3	-2	-1/2	-1		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	...
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
	0	1	1/2	2	1/3	3	1/4	2/3	3/2	4	1/5	5	...

ZとQ

零と負数を追加する。

...	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1		
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
...	-5	-1/5	-4	-3/2	-2/3	-1/4	-3	-1/3	-2	-1/2	-1		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	...
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
	0	1	1/2	2	1/3	3	1/4	2/3	3/2	4	1/5	5	...

整数と有理数は同じだけ存在する

練習問題

4. この方法で整数 n に対応する有理数を計算するプログラムを書け。
5. この方法で有理数 p/q に対応する整数を計算するプログラムを書け。
6. 正の有理数を一列に並べる方法は他にもいろいろある。他の方法を考えてみよ。

練習問題

7. 有理数を片方向で一行に並べる方法はいろいろある。複数の方法を考えてみよ。

N	自然数全体
Z	整数全体
Q	有理数全体
R	実数全体
C	複素数全体
H	四元数全体
O	八元数全体

N と R

$x_1, x_2, x_3, x_4, x_5, \dots$ を 0 より大きく 1 以下の実数の列とする。

(添字を 1 から始めているのは単に技術的理由)

十進無限小数展開する。

$$x_1 = 0.a_{11}a_{12}a_{13}a_{14}a_{15} \dots$$

$$x_2 = 0.a_{21}a_{22}a_{23}a_{24}a_{25} \dots$$

$$x_3 = 0.a_{31}a_{32}a_{33}a_{34}a_{35} \dots$$

$$x_4 = 0.a_{41}a_{42}a_{43}a_{44}a_{45} \dots$$

$$x_5 = 0.a_{51}a_{52}a_{53}a_{54}a_{55} \dots$$

⋮

(各 a_{mn} は 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 のいずれか)

十進無限小数展開する。

$$x_1 = 0.a_{11}a_{12}a_{13}a_{14}a_{15} \dots$$

$$x_2 = 0.a_{21}a_{22}a_{23}a_{24}a_{25} \dots$$

$$x_3 = 0.a_{31}a_{32}a_{33}a_{34}a_{35} \dots$$

$$x_4 = 0.a_{41}a_{42}a_{43}a_{44}a_{45} \dots$$

$$x_5 = 0.a_{51}a_{52}a_{53}a_{54}a_{55} \dots$$

⋮

(各 a_{mn} は 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 のいずれか)

2通りに十進小数展開できるものについては、999...のほうを選び、000...のほうを**は**選ばない。

たとえば、 $0.2000\dots = 0.1999\dots$ については、 $0.1999\dots$ を選ぶ。

十進無限小数展開する。

$$x_1 = 0.a_{11}a_{12}a_{13}a_{14}a_{15} \dots$$

$$x_2 = 0.a_{21}a_{22}a_{23}a_{24}a_{25} \dots$$

$$x_3 = 0.a_{31}a_{32}a_{33}a_{34}a_{35} \dots$$

$$x_4 = 0.a_{41}a_{42}a_{43}a_{44}a_{45} \dots$$

$$x_5 = 0.a_{51}a_{52}a_{53}a_{54}a_{55} \dots$$

⋮

(各 a_{ij} は 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 のいずれか)

$a_{11}, a_{22}, a_{33}, a_{44}, a_{55}, \dots$ に着目。

NとR

$a_{11}, a_{22}, a_{33}, a_{44}, a_{55}, \dots$ に着目。

$b_1, b_2, b_3, b_4, b_5, \dots$ を

$$b_n = \begin{cases} 5 & a_{nn} \neq 5 \text{ のとき} \\ 6 & a_{nn} = 5 \text{ のとき} \end{cases}$$

で定める。

NとR

$a_{11}, a_{22}, a_{33}, a_{44}, a_{55}, \dots$ に着目。

$b_1, b_2, b_3, b_4, b_5, \dots$ を

$$b_n = \begin{cases} 5 & a_{nn} \neq 5 \text{ のとき} \\ 6 & a_{nn} = 5 \text{ のとき} \end{cases}$$

で定める。

常に $b_n \neq a_{nn}$ が成り立つことが重要。

NとR

$a_{11}, a_{22}, a_{33}, a_{44}, a_{55}, \dots$ に着目。

$b_1, b_2, b_3, b_4, b_5, \dots$ を

$$b_n = \begin{cases} 5 & a_{nn} \neq 5 \text{ のとき} \\ 6 & a_{nn} = 5 \text{ のとき} \end{cases}$$

で定める。

実数 y を十進小数展開

$$y = 0.b_1b_2b_3b_4b_5 \dots$$

で定める。

NとR

$a_{11}, a_{22}, a_{33}, a_{44}, a_{55}, \dots$ に着目。

$b_1, b_2, b_3, b_4, b_5, \dots$ を

$$b_n = \begin{cases} 5 & a_{nn} \neq 5 \text{ のとき} \\ 6 & a_{nn} = 5 \text{ のとき} \end{cases}$$

で定める。

実数 y を十進小数展開

$$y = 0.b_1b_2b_3b_4b_5 \dots$$

で定める。

y は $x_1, x_2, x_3, x_4, x_5, \dots$ のいずれとも等しくない。

$\therefore y$ と x_n は 10^{-n} の位が必ず異なる。

NとR

0より大きく1以下の実数の列 $x_1, x_2, x_3, x_4, x_5, \dots$ をどのように選んでも、そのいずれとも等しくない0より大きく1以下の実数を見つけることができる。

NとR

0より大きく1以下の実数の列 $x_1, x_2, x_3, x_4, x_5, \dots$ をどのように選んでも、そのいずれとも等しくない0より大きく1以下の実数を見つけることができる。

例

$$x_1 = 0.10100\dots$$

$$x_2 = 0.33333\dots$$

$$x_3 = 0.42411\dots$$

$$x_4 = 0.14159\dots$$

$$x_5 = 0.71828\dots$$

⋮

に対して

$$y = 0.55565\dots$$

NとR

以上の方法を利用すると、一般の実数の列 $x_1, x_2, x_3, x_4, x_5, \dots$ をどのように選んでも、そのいずれとも等しくない実数を見つけることができる。(詳細略)

NとR

以上の方法を利用すると、一般の実数の列 $x_1, x_2, x_3, x_4, x_5, \dots$ をどのように選んでも、そのいずれとも等しくない実数を見つけることができる。(詳細略)

実数は自然数よりも真にたくさんある。

練習問題

7. 0より大きく1以下の実数の列に対してそのいずれとも等しくない0より大きく1以下の実数を見つける方法は他にもいろいろある。他の方法を考えてみよ。

RとC

N	自然数全体
Z	整数全体
Q	有理数全体
R	実数全体
C	複素数全体
H	四元数全体
O	八元数全体

RとC

0 個以上の 0 の後に 0 以外の 1 個の数字が並ぶ列を連と呼ぶ。
十進小数展開を連に分解する。

例

$$0.101001000100001\dots \mapsto 0.1\ 01\ 001\ 0001\ 00001\ \dots$$

$$0.33333\dots \mapsto 0.3\ 3\ 3\ 3\ 3\ \dots$$

RとC

まず、0より大きく1以下の実数と
実部も虚部も0より大きく1以下の複素数を
対応させる。

RとC

z を実部も虚部も 0 より大きく 1 以下の複素数とする。

z の実部と虚部を十進小数展開して連に分解する。

$$\operatorname{Re} z = 0.r_1r_2r_3r_4r_5 \dots$$

$$\operatorname{Im} z = 0.r'_1r'_2r'_3r'_4r'_5 \dots$$

連の並びとしてマージしたものを十進小数展開とする実数 x を作る。

$$x = 0.r_1r'_1r_2r'_2r_3r'_3r_4r'_4r_5r'_5 \dots$$

この実数 x は 0 より大きく 1 以下である。

RとC

z を実部も虚部も 0 より大きく 1 以下の複素数とする。

z の実部と虚部を十進小数展開して連に分解する。

$$\operatorname{Re} z = 0.r_1r_2r_3r_4r_5\dots$$

$$\operatorname{Im} z = 0.r'_1r'_2r'_3r'_4r'_5\dots$$

連の並びとしてマージしたものを十進小数展開とする実数 x を作る。

$$x = 0.r_1r'_1r_2r'_2r_3r'_3r_4r'_4r_5r'_5\dots$$

この実数 x は 0 より大きく 1 以下である。

例

$$\operatorname{Re} z = 0.101001000100001\dots$$

$$\operatorname{Im} z = 0.33333\dots$$

のとき

$$x = 0.13013001300013000013\dots$$

RとC

z を実部も虚部も 0 より大きく 1 以下の複素数とする。

z の実部と虚部を十進小数展開して連に分解する。

$$\operatorname{Re} z = 0.r_1r_2r_3r_4r_5 \dots$$

$$\operatorname{Im} z = 0.r'_1r'_2r'_3r'_4r'_5 \dots$$

連の並びとしてマージしたものを十進小数展開とする実数 x を作る。

$$x = 0.r_1r'_1r_2r'_2r_3r'_3r_4r'_4r_5r'_5 \dots$$

この実数 x は 0 より大きく 1 以下である。

数字の並びとしてマージするのではなく
連の並びとしてマージするのは
000... の出現を防ぐため。

RとC

z が一般の複素数の場合、実部と虚部を十進小数展開し、整数部と小数部に分け、小数部は連に分解する。

$$\operatorname{Re} z = n + 0.r_1 r_2 r_3 r_4 r_5 \dots$$

$$\operatorname{Im} z = n' + 0.r'_1 r'_2 r'_3 r'_4 r'_5 \dots$$

整数の対 $\langle n, n' \rangle$ に対応する整数 m を作る。(詳細略)
マージして実数 x を作る。

$$x = m + 0.r_1 r'_1 r_2 r'_2 r_3 r'_3 r_4 r'_4 r_5 r'_5 \dots$$

RとC

z が一般の複素数の場合、実部と虚部を十進小数展開し、整数部と小数部に分け、小数部は連に分解する。

$$\operatorname{Re} z = n + 0.r_1r_2r_3r_4r_5\dots$$

$$\operatorname{Im} z = n' + 0.r'_1r'_2r'_3r'_4r'_5\dots$$

整数の対 $\langle n, n' \rangle$ に対応する整数 m を作る。(詳細略)
マージして実数 x を作る。

$$x = m + 0.r_1r'_1r_2r'_2r_3r'_3r_4r'_4r_5r'_5\dots$$

実数と複素数は同じだけ存在する

R と H

N	自然数全体
Z	整数全体
Q	有理数全体
R	実数全体
C	複素数全体
H	四元数全体
O	八元数全体

R と H

実数と四元数は同じだけ存在する。(詳細略)

RとH

N	自然数全体
Z	整数全体
Q	有理数全体
R	実数全体
C	複素数全体
H	四元数全体
O	八元数全体

RとO

実数と八元数は同じだけ存在する。(詳細略)

まとめ

- ▶ 自然数と整数と有理数は、それぞれ、同じだけ存在する。
- ▶ 実数は自然数よりも真にたくさん存在する。
- ▶ 実数と複素数と四元数と八元数は、それぞれ、同じだけ存在する。

$$\mathbb{N} \subsetneq \mathbb{Z} \subsetneq \mathbb{Q} \not\subsetneq \mathbb{R} \subsetneq \mathbb{C} \subsetneq \mathbb{H} \subsetneq \mathbb{O}$$

おまけ

\mathbb{Q} 有理数全体
 $\bar{\mathbb{Q}}$ 代数的実数全体
 \mathcal{R} 計算可能実数全体
 \mathbb{R} 実数全体

$$\mathbb{Q} \subsetneq \bar{\mathbb{Q}} \subsetneq \mathcal{R} \subsetneq \mathbb{R}$$
